



# すくすく

2019 No. 63 11月  
編集・発行 済生会宇都宮乳児院  
〒321-0974 宇都宮市竹林町945-1  
☎ 028-626-5511 (代)



## たのしかったね♪

今回は9月に栃木県済生会支部主催で開催された済生会フェアに参加した時の様子です。

### イベントに参加して思うこと

院長 石塚 豊

以前に子どもを持つ親の心得という記事を目にしたことがあります。乳児の時は「肌」を離すな、幼児の時は「手」を離すな、児童の時は「目」を離すな、少年・少女の時は「心」を離すなという内容です。当たり前のことか書いてあると思っていましたが、今思えば深みのある言葉となりました。

今年は、済生会フェアとして地域住民に向けて初のイベントが開催されました。済生会とは何か、栃木県支部として乳児院も含めてどのような施設があるかなどの紹介、屋外ステージやイベント広場、アトラクション等も交えて幅広い年代の方々が楽しんでいました。このイベントに、子どもたちは初めて参加しました。まずは、人が多いことにびっくり、音楽の音の大きさにビックリ、今までにあまり経験しなかったため、泣き出す子もいました。次第に雰囲気にも慣れ、ゆるキャラが登場したときには、一緒に記念撮影をする中で、喜びに代わりました。泣き出せば、抱っこをして「肌」に触れて安心させ、安全であることを知らせます。次に「手」をつないで別の会場に移動します。駄菓子コーナーがあると、好きなお菓子を買ってもらい、大事そうに袋を抱えます。片方には温かい保育者の「手」があります。

人と人との結びつきを強める目的もあるイベントで、子どもたちと保育者のさらなる結びつきを実感できた時でもありました。

#### ★ 理念 ★

子ども達の基本的な人権を守り、家庭に代わって安定した人間関係の中で、心身ともに健康で心豊かな子どもを育成する。

#### ★ 基本方針 ★

1. 健康的な体に育てる
2. 豊かな愛情で情緒の安定をはかり、自主性と思いやりを育てる
3. 豊かな生活体験ができる環境を安全に整える

## ご寄贈いただきました

萩島様よりエレクトーンをご寄贈いただきました。こども達と楽しく使わせていただきます。ピアノとは別格の複雑な音色はこどもの聴覚に大いに刺激を与えてくれることでしょう。ご篤志に心より感謝申し上げます。皆さまからのご寄付は子どもの健全な育成に役立てさせていただきます。



新幹線に乗りました



ドクター・ナースに変身！  
バッチリ決まりました



楽しかったね



ゆるキャラもたくさん来ていました

